

第二 勞働團體ノ状況

勞働團體ノ状況ニ関シテハ前篇ニ述バル如ク
アリシカ其後若シテ衰化ナリ依然沈黙ノ状
況ニアリ只ニ三司俾ノ事業主ニ對スル運動
アリタルニ從テ如ク熾烈ナラズ一時の
ニテテシタレ影響ナクモ、如ク其ノ他ニ
能クハ現状ヲ維持スルニ努力シ、運動ニ資セン
カ為母部組織ヲ改良等ニ奔走スルニ過ヤス
單ノ五月一日在京右等街組合、聯合ニ依リ
行ハレタルノ一デハ及資本主義運動中代
表的ノモノニシテ相當注意ヲ要スルモノアリ

リタリ以下五月中旬ニ於ケル團體行動ノ主
ルモノヲ列挙スヘシ

一 勞働祭

都下ニ於ケル勞働祭(メーデー)ハ大正九年五月
二日トシテ公園兩大師前ニ於テ友愛會ノ主催
ニ依リ舉行シタルヲ嚆矢トス之レ校園最初
ノ勞働祭ニシテ爾後年々行フヲ例トセリ
年々東京勞働全盟會及勞働組合全盟會ヲ中
心トセル各勞働組合ノ主催ニ依リ五月一日
芝區芝浦埋立地ヲ會場トシテ全所ヨリ深川區
越中島空地ニ至ル間多量運動ナシタル共
計則及狀況ヲ記述スルニ方リ先勞働祭ノ起
因ニ関シ其大要ヲ述フバシ